



キリバス民間ユネスコ協会設立支援プロジェクト

公益社団法人 仙台ユネスコ協会主催



シンポジウム 「共に生きる未来へ」

～気候危機最前線の国キリバス共和国の現状から持続可能な社会を考える～

◆開催日/ **2023年2月11日(土・祝)**

◆会 場/エル・パーク仙台 セミナーホール 1・2

141ビル(三越定禅寺通り館)5F (仙台市青葉区一番町4-11-1)

◆参加方法/会場とオンライン同時開催となります。参加方法は2通り

① 会 場 参 加

申し込み不要。当日直接会場へおこしください

②Zoomで参加

前日までに招待メールを送ります

申し込み先: unesco1947@gmail.com

タイムスケジュール

〈出入り自由〉

＜午前の部＞

キリバス 共和国 (ライブ中継) エル・パーク仙台

＜午後の部＞

10:00 開場 受付

10:30 開会/キリバス訪問報告

2022年11月、仙台ユネスコ協会から見上会長、内藤副会長がキリバスを訪問しました。現地の状況や交流の様、抱えている課題についてご報告させていただきます。

12:00 休憩



12:45 リレー講演

・福島秀明氏 気象庁仙台管区気象台 気象防災部
気候変動・海洋情報調整官

・桜井愛子氏 東北大学災害科学国際研究所教授

13:30 パネルディスカッション

気象や災害の専門家とともに、グローバルな視点でこれからの持続可能なライフスタイルについて語り合います。
パネリスト/福島秀明氏、桜井愛子氏、

ケンタロ・オノ氏<日本キリバス協会代表理事>

見上一幸<仙台ユネスコ協会会長>

[ファシリテーター] 市瀬智紀<仙台ユネスコ協会理事>

【主催】(公益社団法人) 仙台ユネスコ協会

【共催】(一般社団法人) 日本キリバス協会、ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム

【後援】日本ユネスコ協会連盟、環境省東北地方環境事務所 東北地方ESD活動支援センター、宮城県、仙台市

【協力】キリバス共和国南タラワ市

未来の東北博覧会記念国際交流基金助成事業/仙台観光国際協会補助事業

開催趣旨

南太平洋に浮かぶ珊瑚環礁の島々からなるキリバス共和国。エメラルドグリーンのラグーン、白砂の海岸、椰子の木…夢のような景色が広がるこの美しい国が、遠くない将来、人が住めなくなると予測されていることを知っていますか？ 海拔わずか3m、地球温暖化に伴う海面上昇の影響を受け、国土浸食の危機にさらされているのです。美しい自然、人々の暮らし、育んできた固有の伝統や文化を失うかもしれないその原因に、地球上の誰もが加担している現代社会。他方、気候危機はキリバスだけの問題ではありません。仙台ユネスコ協会は、この現状をキリバスから学び、キリバスの人々と共に行動するためにキリバスを訪問、南タラワ市長と、行動の主体となるキリバス民間ユネスコ協会を立ち上げることに合意しました。本シンポジウムでは、訪問で出会った風景や子どもたちの姿を映像でご紹介、市長からはリアルタイムでメッセージをいただきます。さらに、気象や防災の専門家による講演とディスカッションを通して、持続可能なライフスタイルや行動について考えます。

パネリスト



◎ケンタロ・オノ氏

(一般社団法人) 日本キリバス協会
代表理事
前キリバス共和国名誉領事・
大使顧問



◎バラニコ・バーロ氏

(Mayor Baraniko Baaro)
キリバス共和国南タラワ市市長



◎桜井愛子氏

東北大学災害科学国際研究所
防災教育国際協働センター教授
東洋英和女学院大学
国際協力研究科教授



◎福島秀明氏

気象庁仙台管区気象台
気象防災部
気候変動・海洋情報調整官



◎見上一幸

仙台ユネスコ協会会長
日本ESD学会会長
宮城教育大学名誉教授
元宮城教育大学学長



◎市瀬智紀

仙台ユネスコ協会理事
ESD/ユネスコスクール・
東北コンソーシアム委員長
宮城教育大学国際教育領域教授



公益社団法人 仙台ユネスコ協会

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目1-1仙台第一生命ビル5階

TEL:022-224-2581(火・金 10:00~16:00)

FAX:022-302-3406

sendai@unesco.or.jp

<https://www.unesco.or.jp/sendai/>



SENDAI UNESCO Association
YouTube チャンネル



もご覧ください。